



来年に向けて

表の272号にも書いたが、私は、

- 1年生 = 「泥棒役者」のようなセリフが面白いもの、「アニー」のような簡単なミュージカル
- 2年生 = 「マンマ・ミーア」「クレイジー・フォー・ユー」といった、人間の日常生活を舞台にしたミュージカル
- 3年生 = 「キャッツ」「ライオンキング」「ユタ」「カビ人間」といった非日常・非人間を題材にしたミュージカル・本格劇

といったイメージを持っていたのだが、今年「アニー」が星陵大賞を取ったので、だいぶ変化しているのかも知れない。25R (35R?)にはどんな雰囲気の演目があるのか、これからじっくり考えてみよう。

ついでに、来年の合唱祭の歌も考えなければならぬ。2年生はどのクラスもレベルが

高かったが、その中で25Rが優良賞が取れた一つの大きな理由は「選曲」だろう。「吹雪」がメインだったら、あそこまでは行かなかったに違いない。25R (35R?)としては、評価の高かった男声が生かして、大切に、抒情豊かに歌い上げることのできる曲をメインにするとイイのではないだろうか。いくつかの候補曲をTの時間などに聞き比べて、みんなの心が一つになって、持てる力を全て発揮できるような曲を選びたいものだ。

合唱祭委員長だったTくんは、来年はクラスのこと全力投球できるわけだから、連覇にはかなりしっかりした選曲することが先ず重要だろう。星陵祭も、今年部活で活躍しきれなかったメンバーが大きな意味をもたらしてくれる。日比谷最後の「前期」を思い出深いものにするための準備もしっかりしていこう。

(最終公演後の記念撮影)